

神経変性疾患領域における基盤的調査研究

分担研究者 松井茂之 名古屋大学・医学系研究科・教授

研究要旨

神経変性疾患のゲノム疫学研究のデータベースのメタ解析を通して疾患リスクの評価を行うため、複数データベースの統合解析、ゲノム疫学の統計的方法に関する最新の研究動向について情報収集を行い、本事業の神経変性疾患データベース、ゲノム疫学研究での解析計画の作成に活かした。

A. 研究目的

神経変性疾患のゲノム疫学研究のデータベースのメタ解析を通して疾患リスクの評価に必要なデータベース基盤を確立する。

階層モデルについては細かな検討課題が残されているものの関連構造の柔軟な推定に有効な方法であることは間違いなく、次年度以降はこの方法を軸に進める。

B. 研究方法

神経変性疾患のゲノム疫学研究のデータベースを収集し、統合解析のためのデータの整理と分散処理のための情報収集を行う。

(倫理面への配慮)

公開データのみを用いるため該当なし

E. 結論

次年度以降に行う階層モデルを用いた関連解析を実施可能とするデータベース基盤を確立できた。

C. 研究結果

複数データベースの統合解析、ゲノム疫学の統計的方法に関する最新の研究動向について情報収集を行い、本事業の神経変性疾患データベース、ゲノム疫学研究での関連解析計画の作成に活かした。

特に、複数データベースの分散処理、ゲノムデータの階層モデリングに関する情報を収集し本事業のデータベース研究、ゲノム解析研究の解析計画に取り入れることができた。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

D. 考察